

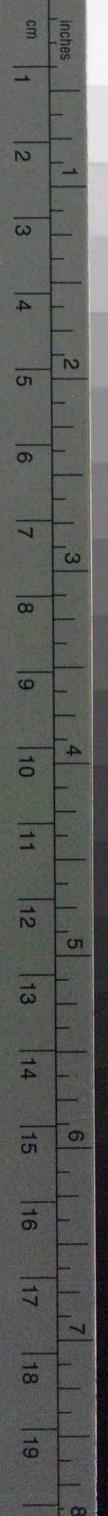
30504

教科書文庫

3
110
41-1891
20000
30156

## Kodak Gray Scale

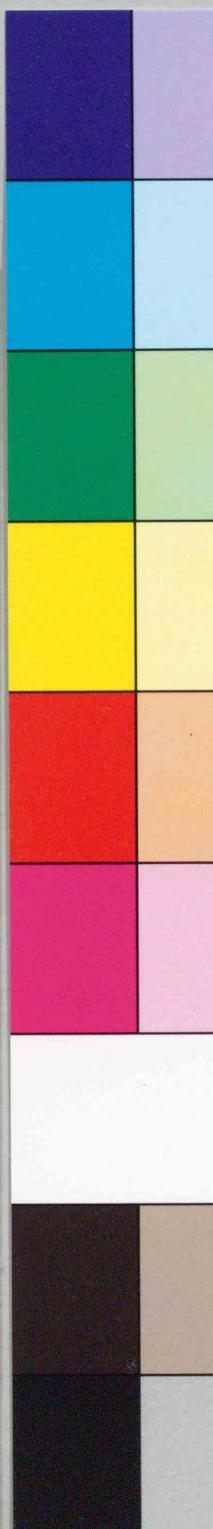
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



## Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

圖書分類

375.9  
Fu10  
資料室號函  
架壳  
之內

R103

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

中央図書館

中華人民共和国圖書館

藤澤南岳述



# 聖勅行義

泊園書院梓

大學圖書

訓示

謹テ惟フニ我カ

天皇陛下深ク臣民ノ教育ニ軫念シタマヒ茲ニ忝ク

勅語ヲ下タシタマフ顯正職ヲ文部ニ奉シ躬重任ヲ荷ヒ日

々省思シテ嚮フ所ヲ愆ランフヲ恐ル今

勅語ヲ奉承シテ感奮措ク能ハス謹テ

勅語ノ體本ヲ作り普ク之ヲ全國ノ學校ニ頒ツ凡ソ教育ノ

職ニ在ル者須ク常ニ聖意ヲ奉體シテ研磨薰陶ノ務ヲ怠ラ

サルヘク殊ニ學校ノ式日及其他便宜日時ヲ定メ生徒ヲ會

集シテ

勅語ヲ奉讀シ且意ヲ加ヘテ諄々誨告シ生徒ヲシテ夙夜ニ

佩服スル所アラシムヘシ

正二東行義

明治二十三年十月三十一日

文部大臣芳川顯正

は  
鳥  
大  
學  
圖  
書  
印

聖勅衍義

朕惟フニ我カ 皇祖 皇宗國ナ肇ムルコト宏遠ニ

〔釋詁〕朕ハ直任ノ切、我ナリ、天子自ヲ稱スルノ辭ナリ、字

土祖ハ始ナリ、易宗ハ尊ナリ、釋名有功ヲ祖トシ、有德ヲ宗ト

傳 賈誼

皇祖ハ肇國諸天皇ヲ謂フ、天照皇太神ヲ稱

シテ天祖ト爲シ、神武天皇ヲ稱シテ神祖ト爲ス、是レナリ、皇宗ハ列聖有德ノ天皇ヲ謂フ、天智天皇ヲ稱シテ中宗ト爲スノ類、是レナリ、肇ハ始ナリ、恭シク惟ンミルニ、科ニ盈チ、海ニ放リテ、晝夜ヲ舍テサル者ハ、源泉ノ力ヲナリ、故ニ流ヲ觀テ以テ其源ヲ知リ、枝葉

ヲ觀テ以テ根柢ヲ知ル、國家モ亦然リ、豈ニ知リ難カラン  
ヤ、夫レ吾カ神州ノ邦タルヤ、神聖ノ肇メ玉ヒシ所ナル  
コト、古史ニ徵スヘシ、鴻荒ノ世、未タ其年紀ヲ詳カニスル  
ヲ得サルハ、猶ホ他ノ萬國ト同シ、然トモ世系胤胄ニ至リ  
テハ、則チ歷々トシテ徵アリ、蓋シ 天御中主神始メテ降  
臨シ玉ヒシヨリシテ、伊奘諾尊 伊奘冊尊ニ至リテ、國  
土成リ、衆物生ス、天照皇太神ニ至リテ、治方大ニ備ハリ、  
以テ 鷦鷀草葺不合尊ニ至ルマテ、稱シテ神世ト爲ス、事  
迹乃チ昭昭ナリ、神武天皇叙聖豁達ニシテ、天孫ヲ以  
テ、天日嗣ニ膺リ玉フ、是レヨリシテ後、稱シテ人皇トナシ、  
以テ 今上天皇ニ至ルマテ、世タル一百二十有二、年タル

二千五百五十有一、仰ヒテ之ヲ視ルニ、實ニ宏ニシテ遠ナ  
リ、宏遠以テ今日ノ盛美ヲ致スカ、今日ノ盛美以テ宏遠ナ  
ルヲ知ルヘキカナ、祖宗ノ偉業、宏ニシテ遠ナル所以ノ  
モノ、豈ニ一々ニシテ之ヲ數フルヲ得ンヤ、然リ而シテ、括  
シテ以テ之ヲ揭ケハ、則チ本ニ報スルノ道、其最モ美ナル  
者ナリ、神武天皇ノ始メテ位ニ即キ玉フヤ、祭祀ヲ重シ、  
神籬ヲ建テ、以テ 天祖ヲ祭リ玉ヘリ、崇神天皇ノ稱シ  
テ御肇國天皇ト爲スモ、亦此レヲ以テナリ、故ニ 列聖祭  
ヲ以テ政ト爲シ、政ヲ以テ祭ト爲シ玉ヒテ、祭政一致ニシ  
テ、朝廷ノ典禮、祭祀十ノ六七ニ居ルハ、本ニ報スル所以  
ナリ、列聖ノ教此ノ如シ、故ニ下視テ之ニ效ヒ、皆本ニ報

スルヲ知ル、本ニ報スルヲ知レハ、則チ其先ヲ念ヒ、又其家ヲ重シ、又其國ヲ愛ス、而シテ人情以テ厚シ、今聖勅冠スルニ、祖宗ノ字ヲ以テシ玉フ、聖旨ノ存スル所、至レリ重シ、

〔格言〕其祖武ヲ繩ク、詩下武也伊尹乃チ明カニ烈祖ノ盛德ヲ言ヒ、以テ王ニ訓ユ、書伊厥止リヲ欽ミ、乃祖ノ行フ攸ニ率フ、書大爾ノ祖ヲ念フコト亡ランヤ、厥德ヲ聿修ス、詩文唯タ社ニ丘乘粢盛ヲ供ス、本ニ報ヒ始ニ反ル所以ナリ、禮記郊特牲萬物ハ天ニ本ツキ、人ハ祖ニ本ツク、此レ上帝ニ配スル所以ナリ、郊ノ祭ハ、大ニ本ニ報ヒ始ニ反ルナリ、上親ノ親ム故ニ祖ヲ尊フ、祖ヲ尊フ、故ニ宗ヲ敬ス、宗ヲ敬ス、故ニ族

## 徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ

ヲ收ム、族ヲ收ム、故ニ宗廟嚴ナリ、禮記大傳先祖ヲ顯揚スルハ、孝ヲ崇フ所以ナリ、禮記祭統宗廟ヲ修メ、祀事ヲ敬スルハ、民ニ追孝ヲ教ルナリ、禮記坊記

〔釋詁〕徳ハ得ナリ、釋名徳ヤハ身ニ得ルナリ、禮記註其天性ヲ得ル、之ヲ徳ト謂フ、後漢書朱穆傳施行シテ理ヲ得ル、之ヲ徳ト謂フ、賈子道術善ヲ善トスルヲ徳ト爲ス、國語註

恭シク惟ンミルニ、諸神物ヲ殖シ貸ヲ産スルト、天照皇太神耕織ヲ教ヘ、衣服ヲ制スルヲ徳ト爲ス、註澤モ亦固ニ枚舉スヘカラサルナリ、今其一二ヲ考フルニ、釋神武天皇ハ、殘賊ヲ戮シ、治化ヲ施シ、威武治ヲ建テ、以テ

萬世ノ基ヲ開キ玉ヒ、崇神天皇ハ、四道將軍ヲ發シ、四裔ヲ撫定シ玉ヒ、應神天皇ハ、名教ノ以テ民ヲ化スヘキヲ見テ、文教ヲ崇ヒ、以テ隆治ヲ致シ玉ヒ、仁德天皇ハ、烟ヲ望ミテ、蒼生ノ困窮ヲ知リ、租ヲ免シ、役ヲ蠲キ、宮殿ヲ修メスシテ、以テ民力ヲ培ヒ玉ヒ、天智天皇ハ、大憲ヲ誅シ、以テ皇道ヲ興シ玉ヒ、孝德天皇ハ、綱紀ヲ張リ、以テ制度ヲ定メ玉フ、此レ德澤ノ最モ大ナルモノナリ、以テ文德天皇ハ、專ハ升平ノ化ヲ思フテ、巡幸遊覽ヲ好ミ玉ハス、光孝天皇ハ、朝廷ノ儀典湮滅スルモノアルヲ傷ミ、振興シ玉フ所多シ、舊章是レニ由テ、粲然トシテ再ヒ美ニ、延喜永延ノ二天皇ハ、御衣ヲ脱シテ、以テ億兆ノ凍寒ヲ

省ミ玉フニ至リテハ、厥德ノ仰クヘク、則トルヘキ、一日ニアラス、而シテ一年ノ田租ヲ賜ヒ、孝子義奴ヲ賞賜シ、又傭役ヲ除キ玉ワコト、史書ヲ絶タス、乃チ知ル、德澤ノ民ニ入ルノ深厚ナル、僕ヲコフルモ、豈ニ得テ詳説センヤ、而シテ、德ノ目三ツ、曰ク智、曰ク仁、曰ク勇、々ハ、麁暴ヲ威服シ、亂虐ヲ制御スル所以、智ハ邪正ヲ辨別シ、隱微ヲ洞察スル所以、而シテ仁最モ大ナリト爲ス、君子ノ名ヲ成ス所以ナリ、故ニ仁ヲ大徳ト爲ス、蓋シ民ヲ安シシ入ニ長タルノ徳、之ヲ仁ト謂フ、禮ヲ制シ、儀ヲ興シ、法ヲ作リ、令ヲ定メ、賢ヲ擧ケ、人ヲ用井、財ヲ理メ、兵ヲ鍊リ、窮ヲ恤ミ、弱ヲ撫テ、盜ヲ弭メ、寇ヲ禦ク、百般ノ治道、悉ク仁ニ基キ、以テ之ヲ施スノミ、

政事法令其ノ具ニテ、而シテ仁心仁德、其精神タリ、精神内ニ盛ニシテ、治具外ニ顯ハル、百姓ノ心服スル、固ヨリ宜ナリ、古ヘ曰ク、德ヲ樹ツルハ滋キヲ務ムト、書泰而シテ列聖ノ德、流レテ愈ヨ深ク、積ンテ愈ヨ厚シ、則チ彼ノ百年ノ仁、行ヒテ而シテ乍チ絶ヘ、五世ノ澤、潤ヒテ而シテ忽チ涸ル者ノ如キ、焉シソ得テ相ヒ比センヤ、我カ先王ノ若キハ、則チ所謂ユル善ヲ以テ人ヲ養フモノ、天下誰レ力心服シテ仰慕セサランヤ、

〔格言〕地勢ハ坤、君子以テ厚德物ヲ載ス、易象山下ニ出ル泉ハ蒙、君子以テ行ヲ果シ德ヲ育フ、同用ヲ利シ、身ヲ安ンスルハ、以テ德ヲ崇フルナリ、易繫履ハ德ノ基ナリ、謙ハ德

ノ柄ナリ、復ハ德ノ本ナリ、恒ハ德ノ固メナリ、損ハ德ノ修ナリ、益ハ德ノ裕ナリ、困ハ德ノ辨ナリ、井ハ德ノ地ナリ、巽ハ德ノ制ナリ、同淑人君子ハ、其德回<sup>ヨシマ</sup>ナラス、詩鼓人亦言「アリ、德ノ轄キコト毛ノ如シ、詩烝克俊德ヲ明シテ、以テ九族ヲ親シスレハ、九族既ニ睦マシ、典堯德ハ惟政ヲ善クス、政ハ民ヲ養フニ在リ、水火金木土穀惟修マリ、正德利用厚生惟和ヲク、書大禹謨生ヲ好ムノ德、民心ニ治シ、上行ニ九德アリ、寬ニシテ栗柔ニシテ立、愿ニシテ恭、亂ニシテ散、擾ニシテ毅、直ニシテ温、簡ニシテ廉、剛ニシテ塞、强ニシテ義、彰ハレテ厥レ常アルハ、吉ナルカナ、書皋陶謨、六ニ三德、一ニ曰ク正直、二ニ曰ク剛克、三ニ曰ク柔克、書洪範曾子曰ク、終ヲ慎

シミ、遠ヲ追ヘハ、民ノ德厚ニ歸ス、論語而子曰ク、政ヲ爲ルニ  
徳ヲ以テスレハ、譬ヘハ北辰ノ其所ニ居テ、而シテ衆星ノ  
之ニ共<sup>ハカ</sup>フカ如シ、同爲政子曰ク、之ヲ道ヒクニ政ヲ以テシ、之  
ヲ齊フルニ刑ヲ以テスレハ、民免レテ耻ナシ、之ヲ道ヒク  
ニ徳ヲ以テシ、之ヲ齊ルニ禮ヲ以テスレハ、耻アツテ且ツ  
格ル、同德孤ナラス、必ス隣リアリ、同里人ノ生ヤ直、韓愈曰、  
之罔<sup>レナ</sup>クシテ生ルハ、幸ニシテ免ルナリ、同雍子曰ク、忠信ヲ  
主トシ、義ニ徒ルハ、徳ヲ崇クスルナリ、同顏事ヲ先ンシ、得  
ルコヲ後ニスルハ、徳ヲ崇クスルニアラスヤ、同君子ニ徳  
ト曰フ、徳盛シニシテ教尊シ、教尊シテ官正シ、官正クシテ  
國治マルハ、君ノ謂ナリ、禮記文王世子知仁勇三ツノモノハ、天下

ノ達徳ナリ、同中苟モ至徳ナラサレハ、至道凝マラス、同大  
學ノ道ハ、明徳ヲ明ニスルニアリ、同大德ハ本ナリ、財ハ末  
ナリ、同大德、曰ク知仁聖義忠和、周禮大孔子曰ク、徳ノ流行  
スル、置郵シテ命ヲ傳ルヨリ速カナリ、孟子公德ヲ以テ人  
ヲ服スルモノハ、中心悅ンテ誠ニ服スルナリ、同天下ニ達  
尊三ツアリ、爵一ツ齒一ツ、徳一ツ、同上徳ニ周キモノハ、邪世  
モ乱ルコト能ハス、同盡至精ニシテ、天地ノ間ニ妙ナルモ  
ノハ、徳ナリ、韓詩  
〔釋詁〕忠ハ誠ナリ、荀子忠ハ正ナリ、呂覽忠ハ中心ヲ盡ス  
ヲ謂フナリ、論語忠ハ德ノ正ナリ、左傳文孝ハ就ナリ、爾

聖 輯 徒 義

孝ハ好ナリ、釋子親ヲ愛利スル、之ヲ孝ト謂フ、道術父母ニ善キヲ、孝ト曰フ、周禮 註先祖ノ志ヲ繼クヲ、孝ト爲ス、孔傳

恭シク惟ニミルニ、邦俗自ラ敦厚ノ風アルモノ、實ニ列聖仁澤ノ致ス所ナリ、響ハ聲ヲ辭セス、鑑ハ形ヲ辭セス、君子一ヲ正シクシテ、萬物ミナ成ルハ、此レ天地ノ常理ナルカ、仁澤ノ致ストコロ、是レ皆躬ヲ以テ之ヲ率ユルノ效ノミ、列聖躬カラ、祖宗ヲ敬シ、祭祀ヲ重シ、禮義ヲ謹ミ、困窮ヲ恤ミ、愚蠢ヲ撫テ玉フ、故ニ下民視テ之ニ效フ、教スシテ知リ、警メスシテ悟リ、賞セスシテ勸ミ、罰セスシテ畏ル、其效此ノ如シ、而シテ忠孝ヤハ、情ニ厚キモノニアラサレ

ハ、之ヲ能セス、君ヲ慕フヤ厚ク、恩ニ感スルヤ厚ク、上ヲ敬スルヤ厚ク、親ヲ愛スルヤ厚シ、故ニ發シテ忠孝ト爲ル、忠孝名異ニシテ、其情一ナリ、蓋シ父ヲ思ハサル者ハ、君ヲ思ハス、父ヲ敬セサル者ハ、君ヲ敬セス、父ヲ愛セサル者ハ、君ヲ愛セス、父ニ薄キ者ハ、君ニ薄シ、古人言ヘルコトアリ、忠臣ヲ求ムルハ、必ス孝子ノ門ニ於スト、其情實ニ厚クシテ、遇フ所ニ隨フテ以テ發スルノミ、父ニ在テ孝ト爲リ、君ニ在テ忠ト爲ル、轉シテ兄弟ニ友ニ、推シテ衆ニ慈愛ナル、皆敦厚ニ原<sup>セト</sup>ツクナリ、是ヲ以テ治教ノ先務ハ、風俗ヲ整フルニアリ、風俗ヲ整フルハ、性情ヲ養フニアリ、性情ヲ養フハ、之ヲシテ厚キニ歸セシムルニアルナリ、厚キニ反スルモ

ノハ則チ薄ナリ、薄ハ則チ世俗ノ稱スル所ノ冷淡是レナリ、慾ニ冷ニ、味ニ淡ナルハ、則チ可ナリ、德ニ冷ニ、義ニ淡ナルハ、則チ不可ナリ、夫レ父母ノ恩ヲ思ハスシテ、而シテ淡ヲ以テ自ラ誇リ、大義ヲ顧ミス、公事ヲ務メスシテ、而シテ冷ヲ以テ自ラ高フル、人豈ニ之ヲ容ンヤ、故ニ風俗ハ敦厚ヲ以テ至レリト爲ス、其情慾ノ若キモ、亦必スシモ厚キヲ憎マス、而シテ之ヲ節スルヲ貴フノミ、其輕重ヲ知ルヲ要スルノミ、中ヲ失フテ、薄ニ歸シ、遂ニ天下ノ人民ヲシテ、木石ノ如ク、達摩ノ如クナラシメント欲スルハ、則チ治道ヲ知ラサルモノ、言ニシテ、人情天理ヲ解セサルノ說ナリ、邦俗幸ヒニ、列聖涵育ノ恩ヲ得テ、其情已ニ厚シ、人々宜

シク自ラ省ミ自ラ講フテ、偷薄ニ走ラサルヘシ、  
〔格言〕忠ヲ顯ハシ良ヲ遂ケ書、善ナレハ君ヲ稱シ、過テハ  
己ニ歸スレハ、則チ民忠ト作ス、禮記趙孟曰ク、患ニ臨ンテ  
國ヲ忘レサルハ、忠ナリ、左傳君子ノ上ニ事フルヤ、進テ  
ハ忠ヲ盡サンコト思ヒ、退テハ過ヲ補ハシコトヲ思ヒ、其  
美ヲ將順シ、其惡ヲ匡救ス、孝經身ヲ卑クシ、躰ヲ賤クシ、夙ニ  
興キ、夜ニ寐子、賢ヲ進メテ解タラス、數往古ノ行事ヲ稱シ、  
以テ主ノ意ヲ厲マシ、益アルヲ庶幾シテ、國家ヲ安ンス、此  
ノ如キ者ハ、忠臣ナリ、説苑先ニ奉シテ孝ヲ思ヒ、書太有子  
曰ク、其人トナリヤ孝弟ニシテ、而シテ上ヲ犯スヲ好ムモノハ  
ノハ鮮シ、上ヲ犯スヲ好マスシテ、亂ヲ作スヲ好ムモノハ

未タ之アラス、君子ハ本ヲ務ム、本立テ而シテ道生ス、孝弟ヤハ、其レ仁ヲスルノ本カ、論語學而三年父ノ道ヲ改ムルナキ、孝ト謂フヘシ、上同孟懿子孝ヲ問フ、子曰ク、違フコト無レ、爲政○父ノ志ニ違ハス、孟武伯孝ヲ問フ、子曰ク、違フコト無レ、禮ナ守ルナ言フナリ、孟懿子孝ヲ問フ、子曰ク、父母ニハ、唯其疾ノミ之レ憂ヒシメヨ、上同子游孝ヲ問フ、子曰ク、今ノ孝ハ、是レヲ能ク養フト謂フ、犬馬ニ至ルマテ、皆能ク養フコトアリ、敬セスンハ、何ヲ以テ別タンヤ、子夏孝ヲ問フ、子曰ク、色難シ、和ニスルナ言フ、顏色溫、上同子曰ク、孝ナルカナ、閔子騫、人其父母昆弟ノ言ヲ聞セス、進同先孟莊子ノ孝、其他ハ能クス可シ、其父ノ臣ト父ノ政トヲ改メサル、是レ能クシ難シ、同子張是ノ故ニ先王ノ孝ヤ、色、目ニ忘レス、聲、耳ニ絶ヘス、心志嗜

欲、心ニ忘レス、禮記祭義孝子ノ深愛アル者ハ、必ツ和氣アリ、和氣アル者ハ、必ツ愉色アリ、愉色アル者ハ、必ツ婉容アリ、上同曾子曰ク、孝ニ三ツアリ、大孝ハ親ヲ尊ヒ、其次ハ辱カシメス、其下ハ能ク養フ、上同子曰ク、舜ハ其レ大孝ナルカ、德聖人タリ、尊キ天子タリ、云々、中庸子曰ク、武王周公ハ其レ達孝ナルカ、夫レ孝ハ善ク人ノ志ヲ繼キ、善ク人ノ事ヲ述フル者ナリ、同身體髮膚、之ヲ父母ニ受ク、敢テ毀傷セサルハ、孝ノ始メナリ、身ヲ立テ、道ヲ行ヒ、名ヲ後世ニ揚テ、以テ父母ヲ顯ハスハ、孝ノ終リナリ、夫レ孝ハ、親ニ事ルニ始マリ、君ニ事ルニ中シ、身ヲ立ルニ終ハル、孝經夫レ孝ハ、天ノ經ナリ、地ノ義ナリ、民ノ行ナリ、上同孝子ノ親ニ事フル、居レハ則チ

其敬ヲ致シ、養ハ則チ其樂ヲ致シ、病ハ則チ其憂ヲ致シ、喪ニハ則チ其哀ヲ致シ、祭ニハ則チ其嚴ヲ致ス、五ツノ者ソナハリテ、然ル後、能ク親ニ事フ、上仁人ノ孝アルハ、猶ホ四體ノ心腹アリ、枝葉ノ根本アルカ如シ、延篤傳

### 億兆心ヲ一ニシテ世世厥美ヲ濟セルハ

〔釋詁〕億兆ハ民ナリ、心ハ任ナリ、廣中ニ在ヲ心トス、

太心ハ神靈ノ臺タリ、莊子濟ハ成ナリ、雅中ニ在ヲ心トス、註字

恭シク惟ンミルニ、俗既ニ忠孝ヲ以テ成リ、能ク其本ヲ一ニシ、能ク其心ヲ貳セス、名分以テ明カニ、大義以テ暢フ、五千餘萬ノ民品類オノオノ殊ニ、等位同シカラス、而シテ皆其職ヲ守リ、其分ニ安ンシ、邦家ヲ重ンシ、私事ヲ輕シトシ、

身ヲ致シ、力ヲ竭シ、以テ皇室ヲ奉スルハ、一ナリ、以テ祖先ノ志ヲ繼キ、祖先ノ事ヲ述ヘ、數十百世相承テ換ハルノナク、上下一致セル、實ニ一身ノ若シ、一箇ノ虧隙アルナシ、豈ニ至美ナラスヤ、抑モ心ナル者ハ、昔人ノ慎テ護レル所ナリ、蓋シ能ク識見ヲ定メ、思慮ヲ奮フテ、以テ狂瀾ヲ制スル者ハ、心ナリ、是非ヲ知リ、進退ヲ決シテ、以テ萬變ニ當ル者ハ、心ナリ、而シテ是非ヲ誤リ愛憎ニ失スル者モ、亦心ナリ、乃チ恐ル、或ハ惑テ貳シ、其本ヲ一ニス能ハサルコトヲ、故ニ曰ク、出入方嚮ノ定リナシト、然レハ、何如シテ可ナランヤ、唯聖旨ヲ以テ規矩トナシ、又以テ型範トナシ、コノ型範ヲ以テ制シテ、其物必ツ方正ナリ、コノ規矩ヲ以テ作

リテ、其器必ツ苦痛ナラス、然ル後ニ惑ヲ免レテ、能ク其本  
 ヲ一ニスルコトヲ得シ、  
 [格言] 淑人君子ハ、其儀一ナリ、其儀一ナレハ、心結フカ如シ、  
鳩詩 人心惟レ危ク、道心惟レ微ナリ、書大禮樂刑政、ソノ極  
 一ナリ、民心ヲ同クシテ治道ヲ出ス所以ナリ、禮記二人心  
 ヲ同クス、其利金ヲ斷ツ、同心ノ言、ツノ臭蘭ノ如シ、易系  
 此レ我カ國體ノ精華ニシテ

恭シク惟ンミルニ、先輩會澤正志嘗テ國体ヲ論シテ曰ク、  
 昔ハ天祖肇メテ鴻基ヲ建テ、位ハ即チ天位、德ハ即チ天  
 德、以テ天業ヲ經綸シ、細大ノ事、一モ天ニ非ルナシ、德ヲ  
 玉ニ比シ、明ヲ鏡ニ比シ、威ヲ劍ニ比シ、天ノ仁ニ体シ、天ノ

明ニ則リ、天ノ威ヲ奮ヒ、以テ萬邦ニ照臨シ、天下ヲ以テ  
 皇孫ニ傳フルニ迨ンテ、手シカラ三器ヲ授ケテ以テ天位  
 ノ信トナシ、以テ天德ニ象リテ、天工ニ代リ、天職ヲ治ム、然  
 シテ後、之ヲ千萬世ニ傳フ、天胤ノ尊、嚴乎トシテ其レ犯  
 ス可ラス、君臣ノ分、定テ、而シテ大義以テ明ナリ矣、天祖  
 ノ神器ヲ傳フル、特ニ寶鏡ヲ執テ祝シテ宣マハク、此ヲ視  
 ルコト、猶ホ吾ヲ視ル如クセヨト、而シテ萬世奉祀以テ  
 天祖ノ神ト爲ス、聖子神孫寶鏡ヲ仰ヒテ、影ヲ其中ニ見  
 ル、見ル所ハ即チ天祖ノ遺体ニシテ、之ヲ視ル、猶ホ天  
 祖ヲ視ルカ如シ、是ニ於テカ、盥薦ノ間、神人相感シテ、以テ  
 己ム可カラス、則チ其遠ヲ追ヒ、孝ヲ申す、身ヲ敬シ、德ヲ修

ムル、豈ニ已ムヲ得ンヤ、父子ノ親敦クシテ、而シテ至恩以  
テ隆ナリ矣、天祖既ニ此ニツノ者ヲ以テ、人紀ヲ建テ、訓  
ヲ萬世ニ垂タリト、其言盡セリ、即チ聖旨ノ指シテ精華  
ト宣タマヘルモ、亦乃チ此レナリ、國体既已ニ此ノ如ク、風  
俗乃チ又此ノ如シ、外人ノ推稱シテ君子國ト云フ、豈ニ他  
アランヤ、体嚴ニシテ俗美ニ、俗美ニシテ体嚴ナリ、必ツ相  
待テ立ツ、試ニ更ニ風俗ノ重キ所以ヲ論センニ、古人云フ、  
政ノ及フ所ノ者ハ淺ク、俗ノ持スル所ノ者ハ深シト、又云  
ヘリ、子孫ノ常ニ賢ナル能ハサル、國ノ常ニ安キ能ハサル、  
法ノ常ニ善ナル能ハサル、固ヨリナリ聖人ト雖トモ如何  
トモスルナシ、獨リ其禮義ノ風俗ヲ養テ以テ、後人ニ遺シ、

衰亂ノ時ヲシテ、猶ホ之ヲ恃ンテ以テ復タ振ヒ、四隣望シ  
テ敢テ謀ヲサラシム、其後世ヲ慮ルモ亦深シト、豈ニ然ラ  
スヤ、今吾カ神州列聖ノ化スル所、風俗此ノ如ク敦厚  
ニ、國体此ノ如ク嚴確ナリ、外人ノ仰慕モ亦宜ナラスヤ、  
〔格言〕儒林ノ官ハ、四海ノ淵源、宜シク皆古今ニ明カナルヘ  
シ、故ヲ温シ新ヲ知リ、國体ニ通達ス、故ニ之ヲ博士ト云フ、  
漢書成帝紀帝王ノ重ンスル所ノ者ハ國体切ニスル所ノ者ハ  
人情苟モ其体ヲ得レハ、必ツ大和ニ臻ル、如シ其情ヲ失ヘ  
ハ、是レ小利ニ曲ス、舊唐書

## 教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ズ

〔釋詁〕教ハ效ナリ、下ノ法效スル所ナリ、釋

恭シク惟ンミルニ、教育ヤハ、人ノ其性ヲ保ツ所以ナリ、天ノ萬物ヲ生スル、必ツ其性ヲ與フ、金石水火、各其性アリ、鳥獸虫魚、各其性アリ、人ノ性アル、亦シカリ、而シテ人類ハ、獨リ稱シテ萬物ノ靈トスル者ハ何ソヤ、其智ノ衆物ヨリ敏捷ナルヲ以テスル而已ニ非ス、才ノ萬類ニ超過セルヲ以テスル而已ニ非ス、能ク倫理ヲ審カニシ、綱常ヲ辨スル、之ヲ人ト謂フ、能ク群リテ相害セサル、之ヲ人ト謂フ、能ク資トシ師トシテ、相輔ケ以テ志ヲ成シ、用ヲ致ス、之ヲ人ト謂フ、能ク萬物ヲ制御シテ、我功用ニ供スル、之ヲ人ト謂フ、而シテ教ニ由テ以テ道ヲ知リ、道ヲ知テ以テ其性ニ率ヒ、又其性ヲ盡スナリ、凡ソ天力ノ至ラサル所ハ、必ツ人力ヲ待

テ以テ之ヲ成ス、故ニ生スル者ハ天、成ス者ハ人、体ハ天ニ屬シテ、用ハ人ニ屬ス、是レ宇内ノ常則ナリ、而シテ人々性ヲ恃ミ情ヲ恣ニシテ、以テ宜シキヲ得タリトスル、嘆ス可キノミ、蓋シ世ノ人力ノ重ヲ知ラス、性ヲ恃ミ、情ヲ恣ニスル者ハ、皆教ヲ知ラサルナリ、故ニ曰ク、教ナケレハ禽獸ニ近シト、又曰ク、禮ナケレハ則チ禽獸ニ別ツコトナシト、夫レスノ淵源ヲ悟リ、斯ノ精華ヲ保チ、始メテ人ト稱スルヲ得ン、推シテ之ヲ論スレハ、人ノ類二ツアリ、曰ク君子、曰ク小人、本ト上ニアル人ヲ君子ト稱シ、下ノ人ハ小人ト稱ス、因テ德ノ上タルニ足ルヲ君子トシ、徳ノ上タルニ足ラサルヲ小人トス、彼ヲ和シテ同セス、泰ニシテ驕ナラス、周シ

爾臣民父母二孝

教ト謂フ、庸中誠ナルヨリ明ナル、之ヲ性ト謂フ、明ナルヨリ誠ナル、之ヲ教ト謂フ、同其家教フ可カラスシテ、而シテ能ク人ヲ教ユル者ハ之レナシ、學大人ニ教ユルニ善ヲ以テスル、之ヲ忠ト謂フ、孟子君子ノ教ユル所以ノ者五ツ、時雨ノ化スル如キ者アリ、德ヲ成ス者アリ、財ヲ達スル者アリ、問ニ答フル者アリ、私カニ淑クシテ艾ムル者アリ、通盡心

臣民父母ニ孝ニ

〔釋詁〕父ハ矩ナリ、法度ヲ以テ子ヲ教フルナリ、白虎父ハ始メテ已レヲ生ムナリ、釋名母ハ冒ナリ、已レノ生ヲ含ムナリ、釋母ハ牧ナリ、廣雅

恭シク惟ンミルニ、首ノ三字、臣民ヲ警呼シ玉フ、厥命辭是ニ於テ端ヲ更タムルナリ、奉讀スル者、宜シク殿陛ノ下ニ坐シ、龍顏ヲ拜シ、觀音ニ接スルノ想ヒアルヘシ、父母生育長養ノ恩ハ、人々皆ソノ廣大ヲ知ル、而シテ父母ノ子於ケル、之ヲ愛スル深シ、故ニ爲ニ慮ルヤ精、之ヲ思フコ厚シ、故ニ之ヲ憂ルヤ周子シ、生育ニ當テハ、則チ困苦辛酸到ラサル所ナシ、稍長スルニ當テハ、則チ生計ヲ謀リ、產業ヲ慮ル、周子カラサル所ナシ、而シテ子タル者ノ心、或ハ未タ之ヲ詳カニセス、乃チ云フ、恩ニ報スル亦底止スル所アル可シト、其レ何ソ思ハサルノ甚シキ、此レ教フルニ孝ヲ以テスル所以ナリ、

〔格言〕夙ニ興キ夜ニ寐子爾ノ所生ヲ忝カシムル無レ、詩小  
安蓼々タル者ハ義々ニ匪ス維レ蒿、哀々ス父母我レヲ生シテ劬勞ス詩蓼父ナクンハ何ヲカ怙マン、母ナクンハ何ヲカ恃マン、父ヤ我ヲ生ミ、母ヤ我ヲ鞠ヒ、我ヲ拊テ、我ヲ畜ヒ、我ヲ長シ、我ヲ育ヒ、我ヲ顧リミ、我ヲ復ソフシ、出入我ライタク、之カ德ニ報ヒント欲スレハ、昊天極リナシ同上父母イマセハ、遠ク遊ハス、遊フ必ツ方アリ論語里仁父母ノ年ヲハ、知テスンハアル可カラズ、一ハ則チ以テ喜ヒ、一ハ則チ以テ懼ル、同凡ソ入ノ子タルノ禮冬ハ温アタガニシテ、夏ハ清スラクス、昏ニ定シテ、晨ニ省ル禮記夫レ人ノ子タル者、出ルニ必ツ告ケ、反ルニ必ツ面ス、遊フ所、必ツ常アリ、習フ所、必ツ業アリ、

上 父母在セハ、朝夕恒食ニ、子婦佐ケテ餕ス、則 内 父母没ス  
ト雖トモ、將ニ善ヲナサントスレハ、父母ノ令名ヲ貼サシ  
コトヲ思テ、必ツ果シ、將ニ不善ヲナサントスレハ、父母ヲ  
羞辱ヲ貽サンコトヲ思テ、必ツ果サス、同 父命シテ呼ベハ、  
唯シテ諾セス、手ニ業ヲ執レバ、則チ之ヲ投ス、食口ニ在レ  
ハ之ヲ吐ク、走テ趨セス、同 玉 世俗ノ謂ハユル不幸ナル者  
五ツ、其四支ヲ惰タリ、父母ノ養ヲ顧リミサル、一ノ不幸ナ  
リ、博奕シテ飲酒ヲ好ミ、妻子ニ私シテ父母ノ養ヲ顧リミサル、三  
ノ不幸ナリ、耳目ノ欲ニ從テ、以テ父母ノ戮ヲ爲ス、四ノ不  
幸ナリ、勇ヲ好シテ鬪狠シ、以テ父母ヲ危クス、五ノ不幸ナ

リ、孟子

## 兄弟ニ友ニ

〔釋詁〕兄ハ荒ナリ、荒ハ大ナリ、弟ハ第ナリ、相次第シテ生

スルナリ、〔釋〕名兄弟ヲ善クスルヲ、友ト曰フ、爾

恭シク惟ンミルニ、一體一肢、手ノ如ク、足ノ如ク、相ヨリ相  
タノミ、以テ其事ヲ善クスル、此レ兄弟ノ常情ニシテ、宇内  
ノ際ニ、親愛ノ父母ニ次ク者、兄弟ニ之レ若クハナシ、蓋シ  
悌ナラサル可ケン、是ヲ以テ、六行ノ目、先ツ孝友ヲ揭ケ、六  
順ノ典、廻チ友恭ヲ列ス、父母ノ心ヲシテ順乎トシテ以テ  
安カラシムヘキナリ、鄉黨ノ人ヲシテ推尊シテ己ヲ敬セ

シムヘキナリ、古語ニ、民ニ禮順ヲ教フルハ、悌ヨリ善ハナ  
シトナリ、何ソ心ヲ盡サル可ケン、

〔格言〕兄弟既ニ翕ヒ、和樂シテ且ツ湛フ、詩常見ニ宜シク弟  
宜シク、令德壽豈ナラン、上此ノ令キ兄弟ハ、綽々トシテ裕  
カナルアリ、弓角惟レ爾チ令德孝恭、維レ孝ニ、兄弟ニ友ニ、  
克ク有政ニ施コス、書君陳兄弟ニ怡々子路論語六行ハ、孝女睦姻  
任恤、周禮大夫レ兄弟ヲ棄テテ、而シテ親シマサレハ、天下  
其レ誰カ之ヲ親マン、後漢書袁譚傳

### 夫婦相和シ

〔釋詁〕夫ハ扶ナリ、大戴禮通夫ハ膚ナリ、其智ノ膚敏ヲ言フ、俗  
婦ハ服ナリ、廣雅其人ニ服事スル明スナリ、後漢書和ハ

睦ナリ、國語和ハ適ナリ、淮南子註  
恭シク惟シミルニ、乾元坤元、資テ始メ資テ生スルノ道存  
ス、維レ男維レ女、化育生養ノ機存ス、獨陽ハ以テ成ヲ得ス、  
獨陰ハ以テ生スルヲ得ス、是ヲ以テ男アレハ則チ室アル  
ヲ願ヒ、女アレハ則チ家アルヲ願フ、此父母ノ心ニシテ、而  
シテ人道ノ常ナリ、然リト雖トモ、夫婦ノ道、必ツ媒妁ヲ待  
テ以テ其本ヲ正クズ、本正カラサレハ、則チ狎レ侮リテ、以  
テ其常ヲ壞フル、故ニ幼ナルヤ、其別ヲ嚴ニシ、交ルヤ、其禮  
ヲ重クシ、親シムヤ、其情ヲ密ニシ、而シテ後ニ以テ其家ヲ  
齊フヘシ、家ニ内外アリ、事ニ剛柔アリ、夫婦分レテ而シテ  
之ニ當リ、能ク和シテ而シテ後ニ以テ其情ヲ全クスヘシ、

和ハ、琴瑟ノ絃ノ若ク、一官一商以テ曲調ヲ咸ス、圖繪ノ采  
ノ若ク、一青一紅以テ、文章ヲ成ス、和ノ道タル、重ヒカナ、必  
ツ之ヲ輕忽ニスヘカラス、

**〔格言〕**夫々タリ婦々タリ、而シテ家道正シ、易家夫婦ノ道ハ、  
以テ久シカラサルヘカラス、故ニ之ヲ受ルニ恒ヲ以テス、  
恒ハ久ナリ、卦同序父子篤ク、兄弟睦シク、夫婦和スルハ、家ノ  
肥タルナリ、禮記同郊教フルニ婦德婦言婦容婦功ヲ以テシ、教ナリテ之ヲ祭ル、牲ニ魚ヲ  
用ヒ、芼スルニ蘋藻ヲ以テスルハ、婦順ヲ成ス所以ナリ、同義

**朋友相信シ**

**〔釋詁〕**同師ヲ朋ト曰ヒ、同志ヲ友ト曰フ、朋ハ類ナリ、易  
朋ハ猶ホ同ノコトシ、後漢友ハ有ナリ、相保有スルナリ、  
釋名信ハ實ナリ、漢書同上信ハ任ナリ、  
恭シク惟ンミルニ、朋友切磋ノ効ハ、實ニ大ナリ、蓋シ物染  
ム所ヲ慎マサル可ラス、依ル所ヲ擇ハサル可ラス、蓬ハ必  
ツ麻中ニ生シテ而ル、后ニ直シ、水ハ必ツ方孟ヲ待テ而ル  
后ニ正シ、况シヤ夫レ性情ハ移リ易ク、心志ハ定マリ難シ、  
惡ニ接スレハ則チ惡善ニ接スレハ則チ善然リト雖トモ、  
習フテ熟スレハ、則チ復タ改マラス、故ニ其初ヲ尙フ、已ニ  
能ク佳朋良友ヲ得ハ、以テ己ムヘキカ否ナ然ラス、之ヲ得

ルト雖トモ、接スルニ道ヲ得サレハ、則チ必ツ之ヲ失フ、道トハ何ソヤ、曰ク信、吾レ信ナラサレハ、則チ人我ヲ信セス、人我ヲ信シテ而シテ後ニ事業成ル可シ、人我ヲ信セサレハ則チ百事ミナ壞ル、故ニ相ヒ信スルノ方、講セサル可ラス、夫レ人ノ道タル、獨立單行以テ爲スアル可キニ非ス、是ヲ以テ、彝倫ノ名興ル、倫ハ相ヒ依リ相資ケルノ名、車ニ從ヘハ、輪ト爲リ、絲ニ從ヘハ、綸ト爲ル、皆両々相ヒ扶ケルヲ謂フナリ、君アレハ則チ臣、父アレハ則チ子、兄アレハ則チ弟、夫アレハ則チ婦、朋友モ亦必ツ相資ケテ以テ成ル者ノミ、是ヲ以テ相ヒ和シ相ヒ信スル、情ノ最モ重キ者、宜シク三復感佩スヘシ、之ヲ知ラサレハ則チ人道壞ル、世ノ權ヲ

以テ相ヒ軋ルハ、則チ人道ニ背クノ甚シキ者ノミ、

**〔格言〕**疑フコト勿ケレハ、朋アヒアツマル、易豫

兌、君子以テ朋友講習ス、易象

傳

矧

ン

ヤ

詩

伐

兄

弟

ア

リ

ト

ナ

シ

、

ランヤ、木兄弟アリト雖トモ、友生ニシカス、同常子貢友

ヲ問フ、子曰ク、忠告シテ善ク之ヲ道ヒク、不可ナレハ則チ

止ム、自ラ辱シムルコトナシ、論語曾子曰ク、君子ハ文ヲ以

テ友ヲ會シ、友ヲ以テ仁ヲ輔ク、上孔子曰ク、益者三友、損者

三友、直ヲ友トシ、諒ヲ友トシ、多聞ヲ友トスルハ、益ナリ、便辟

ヲ友トシ、善柔ヲ友トシ、便佞ヲ友トスルハ、損ナリ、同季氏

司諫ハ萬民ノ德ヲ糾シ、之カ朋友ヲ勸ム、周禮大士爭友ア

レハ、身令名ヲ離レス、孝經天ノ助スクル所ノ者ハ順ナリ、人

ノ助クル所ノ者ハ信ナリ、易系人トシテ信ナケハ、其可ナルヲ知ラス、論語民信ナケレハ、立タス、同頤命ヲ受ルノ主ハ、其衣冠ヲ正シテ、立ツ儼然タリ、人望ンテ之ヲ信ス、其次ハ言ヲ聞テ信シ、次ハ行ヲ見テ信ス、既ニ其言ヲ聞キ、既ニ其行ヲ見テ、衆ミナ信セサルハ、民ノ下ナリ、韓詩外傳

### 恭儉己レナ持シ

〔釋詁〕恭ハ肅ナリ、廣貌ノ正ヲ恭トス、五行志註  
較シテ自ラ歛ムル、之ヲ儉ト謂フ、賈子道循

恭シク惟ンミルニ、人ニ接スルノ方、ソノ類頗ル多シ、孝友和信、之カ基礎ト爲ル、身ヲ守リ德ヲ成ス、其方亦多シ、乃チ掲示ヲ賜フ、聖旨ノ周密到ラサルアル莫シ、夫レ身ヲ守

ルハ、守ルノ本ナリ、未タ身ヲ失フテ、而シテ能ク人ヲ治ムルハアラス、而シテ自ラ守ルノ道ハ、恭儉ヲ本ト爲ス、恭ハ則チ目ノ容口ノ容手ノ容足ノ容ヨリ、以テ進退周旋ニ至ルマテ、必ツ恭シク、必ツ慎ミ、一毫ノ傲慢不遜ノ狀アルコト莫シ、儉ハ則チ色ニ聲ニ味ニ臭ニ、以テ器械宮室ニ至ルマテ、必ツ朴ニ、必ツ素ニ、一毫ノ奢侈淫佚ノ具アルコト莫シ、此レノミ、徳ヲ愆ツノ甚キ、傲慢不遜ヨリ大ナルハ莫シ、故ニ人ノ憎ヲ招キ、人ノ侮ヲ取り、遂ニ以テ身ヲ失フ、恭者ハ人ヲ侮ラス、此レ敬ノ生スル所以ナリ、恭敬ニシテ、而シテ和セサル者ハ、未タ之レアラス、儉者ハ人ヲ奪ハス、故ニ人愛シテ、而シテ之ヲ親ム、親愛シテ而シテ離レ乖ク者ハ、

未タ之レアラス、力ヲ孝友和信ニ用フル者ハ、必ツ能ク恭  
儉ナリ、能ク恭儉ナル者ハ、則チ必ツ孝友和信ナリ、両者相  
ヒ依テ成ル、讀者宜シタ三省シテ、以テ之ヲ悟ルヘシ、  
〔格言〕山上ニ雷アルハ小過、君子以テ行ヒ恭ニ過キ、喪ハ哀  
ニ過キ、用ハ儉ニ過ク、易象德ニ盛ト言ヒ、禮ニ恭ト言フ、謙  
ヤハ恭ヲ致シテ以テ、其位ヲ存スル者ナリ、易系克ク家ニ  
儉ニシテ、自ラ満假セス、書大下ニ接スルニ、恭ヲ思ヒ、甲  
子曰ク、居處恭シク、論語子路是ヲ以テ君子ハ恭敬撙節退讓、以  
テ禮ヲ明ニス、禮記恭儉莊敬ハ、禮ノ教ナリ、同經解子曰ク、恭、  
禮ニ近ク、儉、仁ニ近ク、信、情ニ近シ、同表故ニ君子ハ恭儉以  
テ仁ヲ役サンコトヲ求メ、上恭敬ヲ忘レサルハ、民ノ主ナ

リ、左傳顏淵問フ、何ヲ以テ身ヲオサメン、子曰ク、恭敬ノミ、家  
孟子曰ク、恭者ハ人ヲ侮ラス、儉者ハ人ヲ奪ハス、人ヲ侮リ  
奪フノ君ハ惟恐クハ順カハサルコトヲ、惡ンソ恭儉トス  
ルヲ得ン、恭儉豈ニ聲音笑貌ヲ以テ爲スヘケンヤ、孟子  
離婁

## 博愛衆ニ及ホシ

〔釋詁〕愛ハ惠ナリ、左傳

愛ハ憐ナリ、寵ナリ、字

恭シク惟ンミルニ、虛節浮華ハ、固ヨリ人ヲ動カスニ足ラ  
ス、外貌虛禮ハ、何ソ人ヲ感スルヲ得ン、是ヲ以テ、愛ノ一字、  
人ニ接スルノ大主眼タリ、人ノ人ト接待遭遇スル、禮ソノ  
間ニ行ハレ、儀ソノ容ヲ整フ、之ヲ愛スルノ心アルニ非レ  
ハ、則チ無神ノ偶像ノミ、人何ソ感シテ而シテ之ヲ悅ハシ

ヤ、何ソ親シテ之ヲ敬センヤ、愛ヤハ、仁ニ源シテ而シテ恕ニ成ル、恕ハ則チ己ヲ推テ人ニ及ホス、己ノ好ム所ヲ以テ、人ノ好ム所ヲ察シ、己ノ惡ム所ヲ以テ、人ノ惡ム所ヲ察ス、己レ安逸ヲ欲スレハ、則チ人ヲシテ安逸セシメ、己レ通達ヲ欲スレハ、則チ人ヲシテ通達セシム、惡ム所ハ則チ施スコト勿レ、此レ恕ニシテ、而シテ仁ノ方ナリ、人誰カ悅ンテ服セサランヤ、愛行ハレテ、誠以テ著ハル、而シテ僅々二三ノ朋友ニ施スノミナラハ、則チ其效微ナリ、是ヲ以テ、博ヲ貴フ、博ナレハ、則チ偏ナラス、狹ナラス、其效愈多シ、故ニ君子ハ黽勉シテ博弘ヲ務ム、其之ヲ施スヤ、近ニ始テ而シテ遠ニ及ヒ、親ニ起テ而疎ニ覃ク、故ニ曰ク、吾カ老ヲ老トシ

テ人ノ老ニ及ホシ、吾カ幼ヲ幼トシテ、人ノ幼ニ及ホスト、蓋シ必ツ内ニ周クシテ、而シテ后ニ外ニ及フナリ、世ノ妄ニ外ヲ愛シテ中ヲ忘ル、者ハ、則チ君子ハ取ラス、

〔格言〕汎ク衆ヲ愛シテ、而シテ仁ヲ親シム、論語而樊遲仁ヲ問フ、子曰ク、人ヲ愛ス、淵畏レテ而シテ之ヲ愛シ、愛シテ而シテ其惡ヲ知リ、憎テ而シテ其善ヲ知ル、禮記子曰ク、愛ヲ立ツルハ、親ヨリ始ムルハ、民ニ睦ヲ教フルナリ、同祭古ノ政ヲ爲ス、人ヲ愛スルヲ、大ナ、ト爲ス、同哀

學ヲ修メ、業ヲ習ヒ、以テ智能ヲ啓發シ、德器ヲ成就シ、

〔釋詁〕學ハ覺ナリ、太平學ハ效ナリ、廣業ハ事ナリ、註業ハ

緒ナリ、爾雅智ハ知ナリ、法言可否ヲ知ル者ハ智ナリ、淮南能

ハ才能ナリ、論語皇疏器ハ用ニ給スルノ物ナリ、同

上

恭シク惟ンミルニ、學ニ非レハ、行爲ノ美事務ノ善ニ通ス  
ルコト能ハス、業ニ非レハ、其得ル所ヲ行ヒ、其傳ヘタル所  
ヲ成スコト能ハス、學ヲ修メ、業ヲ習フ、両ノ者全シテ其事  
成ル、智慧才能ハ、事ヲ處分スル所以ニシテ、德字器量ハ、職  
ニ任スル所以ナリ、皆學業ヲ以テ基トナス、德智二ツノ者、  
一ヲ缺ク可カラス、徳アリテ智ナケレハ、昧ニ失シ、智アリ  
テ徳ナケレハ、奸ニ陷井ル、故ニ二ツノ者、一ヲ缺ク可カラ  
ス、而シテ徳ヲ最モ重シトス、德器大ナレハ、智能ノ動、皆ソ  
ノ宜キニ適ス、以テ上トナル可ク、以テ下トナル可シ、朝ニ

在レハ達シ、野ニ在レハ和ス、德器未タ成ラサレハ、智能モ  
其用ヲ盡ス能ハス、或ハ却テ其身ニ害ス、此モ亦慎シマサ  
ル可カラス、

〔格言〕惟レ學テ志ヲ遼シ、務メテ時ニ敏クスレハ、厥修ル乃  
チ成ル、書説惟レ數ユルハ、學フカ半始終ヲ念テ、學ニ典ニ  
スレハ、厥憲修リテ覺ユルコトナシ、上學テ而シテ時ニ之  
ヲ習フ、論語有道ニ就テ正スヲ、學ヲ好ムト謂フ可シ、同予  
曰ク、吾レ十有五ニシテ、學ニ志サス、政學テ而シテ思ハ  
サレハ、則チ罔シ思フテ而シテ學ハサレハ、則チ殆ウシ、同  
君子ハ博ク文ヲ學テ、之ヲ約スルニ禮ヲ以テス、同雍默シ  
テ而シテ之ヲ識リ、學テ而シテ厭ハス、同述學ハ及ハサル

カ如クス、猶ホ恐クハ之ヲ失ナ  
夙シコトハラ、同泰子曰ク、吾  
 レ嘗テ終日食ハス、終夜寢テス、以テ思フ、益ナシ、學フニ如  
カス、同季子曰ク、性相ヒ近シ、習ヒ相ヒ遠シ、同陽  
 テ、學ヲ好マサル、其蔽ヤ愚、知ヲ好シテ、學ヲ好マサル、其蔽  
ヤ蕩、信ヲ好シテ、學ヲ好マサル、其蔽ヤ賊、直ヲ好シテ、學ヲ  
 好マサル、其蔽ヤ絞、勇ヲ好シテ、學ヲ好マサル、其蔽ヤ亂、剛  
ヲ好シテ、學ヲ好マサル、其蔽ヤ狂、同子夏曰ク、日ヒニ其ナ  
 キ所ヲ知リ、月ニ其能スル所ヲ忘ル、コトナキ、學ヲ好ム  
ト謂フ可キノミ、同子張博ク學シテ、篤ク志シ、同君子ハ學テ  
 以テ其道ヲ致ス、上君子民ヲ化シ俗ヲ成サント欲スレハ、  
 必ツ學ニ由ル、禮記玉環カサレハ、器ヲ成サヌ、人學ハサレ

ハ、道ヲ知ラス、上子曰ク學ヲ好ムハ、知ニ近シ、同中博ク之  
 ヲ學ヒ、審ニ之ヲ問ヒ、慎テ之ヲ思ヒ、明ニ之ヲ辨シ、篤ク之  
 ヲ行フ、同上富有之ヲ大業ト謂ヒ、日新之ヲ盛德ト謂フ、易系  
 夫レ易ハ、聖人ノ德ヲ崇クシテ、業ヲ廣ムル所以ナリ、同上君  
 子德ニ進ミ、業ヲ修ム、忠信ハ德ニ進ム所以ナリ、辭ヲ修メ、  
 誠ヲ立ツルハ、業ニ居ル所以ナリ、同上

### 進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ

恭シク惟ンミルニ、今ノ人口ヲ開ケハ則チ曰ク殖產ト、曰  
 ク實業ト、百般ノ公益大利、翕然トシテ以テ興ル、美ト云フ  
 可シ、然レトモ、天下ノ人士、政事學術百工技藝各自ラ其心  
 中ニ悟リ得タル所ヲ拈リ出シテ、或ハ口ニ説キ、或ハ筆ニ

載セ、唯辯論言議ヲ、之レ事トスル者、十ノ八九ニ居レルカ  
如シ、故ニ或ハ目スルニ言論世界ヲ以テセリ、是レ豈ニ美  
事ナランヤ、又何ソ自ラ其才力ヲ測リ、其智能ヲ圖リ、力ヲ  
實利ニ盡シテ、以テ公益ヲ擴メサルヤ、此レ 聖旨ノ之ニ  
及フ所以ナラスヤ、公益ノ二字ハ最モ心ヲ用フ可キ所ニ  
テ、公ハ大、私ハ小、公ハ平、私ハ偏頗、我レ其私ヲ營メハ、必ツ  
他ニ害アリ、是ヲ以テ、人之ヲ憎ミ、之ヲ怒ル、會社協會ノ類、  
乍チ起リ、乍チ仆ル、皆私ヲ圖リテ相軋ルニ原ツクナリ、公  
ナレハ然ラス、偏スル所ナク、黨スル所ナク、衆ニ便ニシテ  
止ミ、世ニ利シテ止ム、故ニ人皆推服シ、憎マス、怒ラス、以テ  
大利ヲ作ス、豈ニ公平ヲ守ラサル可ケンヤ、此處ヨリ以下

ハ、此レ忠ヲ述ヘ玉ヘルナリ、國家ニ忠セントスル者ハ、固  
ヨリ私ヲ挾ム可ケンヤ、

〔格言〕凡ソ益ノ道、時ト偕ニ行フ、易象

## 常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ

〔釋詁〕憲ハ法令ヲ謂フ、穆天子傳註法モ亦律ナリ、呂覽法ハ刑  
ナリ、國語

恭シク惟ンミルニ、列聖ノ蒼生ヲ子育シ、細民ヲ撫テ安  
ンスル、仁恩周到ナル、底リ極マルアルナシ、蓋シ聖德太子  
ノ憲法十七條ヲ錄セラレシヨリ、貞觀延喜ニ至ルマテ、格  
ト曰ヒ、式ト曰フ、耻アリテ且格ラシムル所以ノ具、齊整シ  
テ備ハリ舉ク、治具既ニ張リ、教化既ニ治シ、而シテ冥頑不

靈ノ徒ナクシハアラス、跋扈擅恣ノ屬ナクシハアラス、迺チ之ヲ制シ、之ヲ除カサルヲ得ス、此レ刑典ノ設クル所以ニシテ、仁恩ノ最大ナル者ナリ、莠根ヲ芟鋤スルハ、其嘉穀ヲ害スルヲ以テナリ、不良ノ徒ヲ斬戮スルハ、其良民ヲ害スルヲ以テナリ、良民ヲ育シ、良民ヲ寧ンセント欲スレハ、則チ不良ノ徒ノ之ヲ亂リ之ヲ害スルヲ見テ、惡ミ怒ルハ、亦仁心ノ動テ激スルノミ、故ニ不良ヲ制シテ、憲範ニ從カハシムルハ、以テ良民ヲ護スルニシテ、此レ良民ニ仁シ玉ヘルナリ、不良ノ徒ヲ罰シ戒シムルハ、之ヲシテ自ラ懲リ、自ヲ悔ヒ、悛メテ善ニ赴カシム、此レ不良ノ徒ニ仁シ玉ヘルナリ、又或ハ已ムヲ得ス、之ヲ斬戮スルハ、亦以テ他人ノ

見テ效フ者ヲ懲ラシ、畏レテ避ケシメテ、刑法ニ懼ラサラシムルハ、此レ其人ニ仁シ玉ヘルナリ、故ニ曰ク、一ヲ罪シテ、百ヲ懲ラスト、又曰ク、刑シテ以テ刑ヲ止ムト、故ニ憲法民法市法刑法ノ類ハ、國家ノ重權、人々ヲシテ之ヲ諳知セシメ、避テ犯サス、守テ踰ス、而ル後ニ賢者ハ位ニ安シ、良民ハ家ニ安シシ、小人不良ノ徒遠サカリテ、而シテ國家富岳ノ安ヲ得ルナリ、昧者ハ知ラスシテ、妄ニ曰フ、法ナル者ハ、壓制檢束ナリ、刑ナル者ハ、殘忍ナリト、此レ治術ヲ知ラサル者ナリ、吳漢ハ漢ノ賢將ナリ、諸葛亮ハ蜀ノ名相ナリ、皆極メテ赦ノ良民ヲ害シ、重典ニ非レハ民ヲ護シ難キヲ論セリ、今人ノ及ハサル所以ナリ、

〔格言〕雷電ハ噬嗑、先王以テ罰ヲ明カニシ、法ヲ勅フ、易象臣

人克ク常憲アリ、百官修メ輔テ、厥后惟レ明カナリ、征象  
禁ハ俗ノ隄防、後漢虞法、民ヲ愛スル所以ナリ、新

傳法

### 一日緩急アレハ、義勇公ニ奉シ、

〔釋詁〕緩急ハ兵亂ヲ云フ、緩ハ帶說ナリ、

漢虞法

恭シク惟シミルニ、緩急ハ人世ヲ免レサル所、冥頑不靈ノ  
徒、天ヲ畏レス、道ヲ知ラス、妄ニ自ラ驕慢シ、既ニ良民ヲ殘  
虐シ、又上威ヲ犯ス、内ニシテ將門<sup>カト</sup>賴時、外ニシテ忽必烈ハ、  
マレニアル所、亦唯放僻邪侈ニシテ、以テ流賊トナル者、時  
ニ或ハ之ニアリ、隣邦下雖トモ、亦時ニ貪君暴主アリテ、以  
テ我邦ヲ覬覦スル、其事ハアラカシメ知ル可カラサル者

アリ、聖旨ノ此ニ及フ、實ニ世ヲ憂ヒ民ヲ恤レムノ誠ノ  
睿辭ニ溢レ出ルナリ、吾カ神州古ヨリ以來、叛乱ノ賊、  
猖獗ノ寇、ミナ其志ヲ恣ニスル得ス、此レ義勇ノ士ノ力ヲ  
防禦ニ奮フヲ以テナリ、身ヲ忘レ難ニ殉フノ徒ノ、海内ニ  
滿ツルヲ以テナリ、史編ニ載スル所、歴々數フ可シ、亦實ニ  
邦俗ノ美、謂フ所ノ勇敢强有力ノ者、天下ニ事ナケレハ、之  
ヲ禮義ニ用ヒ、事アル時ハ、之ヲ戰勝ニ用フル、是レノミ、人  
皆知ル、國家事アルノ日、忠烈ノ士必ツ林ノ如ク立テ出ツ  
ルコトヲ、然リト雖トモ、義勇ノ骨髓ヲ填メル者ハ、之ヲ平  
生事ナキノ日ニ養フニ非レハ、之ヲ得ス、義氣ヲ養フノ道  
ハ、武ヲ尚トヒ、義ヲ知リ、膽ヲ鍊リ、智ヲ磨スルニ在リ、宜シ

ク古昔義烈ノ事ヲ諳知シテ、以テ自ラ激昂シテ、奮フアル可キノミ、然ラサレハ、恐クハ、聖旨ヲ奉戴スルニ足ラス、  
**[格言]**民ノ非ヲ爲ヲ禁スルヲ、義ト曰フ、易系信、義ニ近シ、言  
 フムヘシ、論語而子路曰ク、君子勇ヲ尙フ乎子曰ク、君子義以  
 テ上トス、君子勇アリテ、義ナケレハ、乱ヲ爲ス、小人勇アリ  
 テ、義ナケレハ、盜ヲナス、同陽夫レ命世ノ人、正情物ニ遇フ、  
 之ニ際會ヲ假セハ、必ツ義勇ヲ兼ヌ、普書習鑿齒傳

### 以テ天壤無窮ノ 皇運ヲ扶翼スヘシ

恭シク惟ンミルニ、寶祚ノ隆當ニ天壤ト共ニ窮リ無カ  
 ル可シト、是レ天照皇太神ノ天孫ニ命セラレタル懿  
 訓ナリ、即チ是レ君臣上下ノ念ヲ忘ル可カラサル所、此

ヨリ重キハナシ、聖旨ノ之ニ及フ、偶然ニ非ルナリ、夫レ  
 皇運悠久ニシテ、培殖鞏固ナリ、何ソ他ノ力ヲ假ラン、而  
 シテ今扶翼ヲ以テ命シ玉ヘル、聖旨純篤、蓋シ聰明ヲ以  
 テ自ラ先タ・サキス、是レ聖德ノ最モ大ナル者、神聖叡智、  
 而シテ必ツ臣民ノ議ヲ取り、必ツ臣民ノ論ヲ聽キ、必ツ臣  
 民ノ策ヲ納レ玉ヘルハ、則チ謂ハユル人ニ取テ以テ善ヲ  
 爲ル者、豈ニ聖德ノ大ナルニ非スヤ、恭默道ヲ思フノ  
 餘廻チ扶翼ヲ下ニ取り玉ヘル、皇運ノ隆更ニ昔日ヨリ  
 隆ナル者、是ニ於テカ存ス、嗚呼天ニシテ、日月星辰、三千餘  
 年ノ舊、依然トシテ以テ存ス、地ニシテ、山川草木、三千餘年  
 ノ舊、依然トシテ以テ存ス、君ニシテ、皇統一系、三千餘

年ノ舊、依然トシテ以テ存ス、祖宗在天ノ靈、陰ニ之ヲ冥  
々ノ中ニ祐スクルカ、列聖德化ノ美、永ク之ヲ昭々ノ間  
ニ保ツカ、俯仰觀察ノ際、誰カ其レ悚然トシテ感奮セサラ  
シヤ、乃チ知ル、戮力協心シテ、以テ扶翼ノ功ヲ奏スル者、亦  
誰カ心ヲ盡クシテ以テ聖旨ニ報セサランヤ、  
〔格言〕庶明ハケミタスク書臯、陶謨予レ有民ヲ左右セント欲ス、  
ナガタスケヨ同益、稷皇家ヲ扶翼スレハ、則チ主ヲ匡スノ功著  
ハル、晋書孫惠傳

是ノ如キハ、獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラ  
ス、又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン  
恭シク惟シミルニ、大凡海内臣民ノ祖先タル者、ソノ世々

輔佐ノ臣藤原諸公ヨリ、忠臣名士ヲ以テ稱セラレタル和  
氣菅原楠菊池ノ諸公ハ、則チ論ナキノミ、其他朝ニアル野  
ニアルヲ問ハス、皆力ヲ國ニ盡セル者ナリ、身ヲ國ニ致セ  
ル者ナリ、職ヲ守リテ以テ國家ニ益セル者ナリ、財ヲ殖シ  
器ヲ作リテ以テ國家ヲ富セル者ナリ、然レハ今ノ人士、能  
ク忠ニ能ク良ナルハ、則チ祖先ノ志ニシテ、祖先ノ事ナリ、  
之ヲ繼キ、之ヲ述フルハ、大孝ノ存セル所ナリ、其身由聖上  
忠良ノ臣トナルコトヲ得ハ、幸ヒ已ニ甚シ、而シテ孝モ亦  
隨テ成ル、古人ノ忠ト孝トハ両全シ難シト嘆セラレタル  
如キノ憂ヒアルナシ、豈ニ臣民ノ至幸ニ非スヤ、身此ノ上  
國ニ生レ、此ノ明時ニ逢ヒテ、猶ホ恩ヲ報スルヲ知ラサル

者、亦マ、之レアリ、噫、セヨモモハシニ、御水想を辭ミ、誠ニ歎をせん  
【格言】大小ノ臣、ミナ忠良ヲイダク、書岡命

斯道ハ、實ニ我力、皇祖、皇宗ノ遺訓ニシテ、子孫

臣民ノ俱ニ遵守ズヘキ所、

〔釋詁〕道ハ通ナリ、左傳道ハ由ナリ、史記道ハ物ノ由ル所  
ナリ、老子道ハ萬物ノ由ル所ナリ、莊子道ハ猶ホ道路ノコ  
トシ、中庸道ハ先王ノ民ヲ教フル所以ノモノヲ謂フ、周禮

恭シク惟ンミルニ、斯道トハ、上文ノ孝友以下ヲ指テ之ヲ  
括スルノ御言葉ナリ、夫レ彝倫綱常ハ、天ノ大分ニシテ、人  
ノ常典ナリ、我カ祖宗神世ノ時ヨリ、率ヒ由リ、踐ミ履テ、

言ハスシテサトリ、示サスシテ行フ、故ニ未タ嘗テ別ニ之  
カ名ヲ立テサルノミ、道ハ由リテ行ク所、猶ホ大路ト曰フ  
カ如シ、而シテ由ル所一ナラス、村ノ途、山ノ蹊モ、路ノ屬ナ  
レハ、道モ亦君子ノ道アリ、小人ノ道アリ、正ナルアリ、邪ナルアリ、公アリ、私アリ、虛位ト稱セサルヲ得ス、今聖上ノ  
指示ヲ賜ヒタル所ハ、實ニ是レ人道ノ重典懿範ナレハ、今  
ヨリノ後、宜シク單ニ稱シテ道トスヘシ、他ノ指名ノ辭ヲ  
用ヒサルヘシ、水戸ノ源烈公カ道トハ何ソ、天地ノ大經ニ  
シテ、生民ノ須臾モ離ル可カラサル者ト曰レタル、是レナ  
リ、昧キ人ハ或ハ曰フ、本邦上古ニ道ノ名ナシ、此名ハ他  
邦人ノ命セル所ノミト、特ニ知ラス、言ハスシテサトリ、示

サスシテ行フ者ノ、昭々ナル此ノ如キヲ、故ニ遺訓ヲ以テ宣リ玉ヘリ、昧キ人モ亦必ツ悟ル所アル可キカ、錫ニ惟フ、宇内ノ人類、擾々トシテ極テ多シ、孰カ性情ナカラシ、孰カ德義ナカラシ、孰カ禽獸ヲ以テ自ラ居ラジヤ、孰カ暴虐ヲ以テ自ラ安ンゼンヤ、乃チ知ル、君主タル人ハ必ツ長ク其位ヲ保ツヲ欲セん、必ツ民人ヲ撫育スルヲ欲セん、大臣タル人ハ必ツ其主ニ奉事シテ、其國民ヲ安定セント欲シ、其國ノ良臣タルヲ欲セん、庶民タル者ハ必ツ其父母兄弟ノ無事ニシテ、俱ニ生存スルヲ欲セん、必ツ安富壽昌ナルヲ欲セシ、必ツ子孫ノ長ク其家ヲ保ツヲ欲セシノミ、然レハ宜シク同ク人道ヲ守リテ、以テ侵シ陵クノ害ヲ除クヘ

シ、則チ宜シク斯道ニ徇ヒ、永安久治ヲ圖ルヘキナリ、孟軻氏ノ言ニ、瞽瞍舜父豫ヨコヒ底イタシテ、天下ノ父子タル者、定ルト、臣ハ則チ曰ントス、聖旨大ニ行レテ、宇内ノ君臣父子タル者定ルト、

〔格言〕恭默シテ道ヲ思フ、書說好ヲ作スアルナク、王ノ道ニ遵ヒ、同洪偏ナク黨ナク、王道蕩々、同子曰ク、誰カヨク出ルニ戸ニ由ラサラン、何ソコノ道ニ由ルコトナキ、論語志シ、德ニ據リ、仁ニ依リ、藝ニ遊フ、同述人ヨク道ヲ弘ム、道ノ人ヲ弘ムルニ非ス、同憲道ハ須臾モ離ル可ラス、禮記隱タルヲ索メ、怪ヲ行フ、後世述ルコトアラン、吾ハ之ヲ爲ス、君子道ニ遵テ行フ、同君子ノ道、費ニシテ而シテ隠ナリ、同君子道ニ遵テ行フ、同君子ノ道、費ニシテ而シテ隠ナリ、同

君子ノ道、端ヲ夫婦ニ造ス、夫婦ハ匹其至レルニ及テハ、天地ニ察ナリ、上子曰ク、道人ニ遠カラス、人ノ道ヲ爲シテ、人ニ遠キハ、以テ道トナス可ラス、同君子ノ道四ツ、丘未ターナモ能セス、同君子ノ道辟ヘハ遠ニ行カ、必ツ邇キヨリスルカ如ク、同道ヲ修ルニ、仁ヲ以テス、上天下ノ達道五ツ、之ヲ行フ所以ノ者三ツ、曰ク、君臣ナリ、父子ナリ、夫婦ナリ、昆弟ナリ、朋友ノ交ナリ、五ツノ者ハ、天下ノ達道ナリ、上身ヲ修レハ則チ道立ツ、同大ナルカナ、聖人ノ道、洋々乎トシテ、萬物ヲ發育シ、峻ク天ニ極ル、上先後スル所ヲ知レハ、道ニ近シ、大學 禮記夫レ道ハ一而已、孟子 藤文公今仁心仁聞アリテ、民ソノ澤ヲ被ラス、後世ニ法ル可カラサル者ハ、先王ノ道ヲ行

ハサレハナリ、妻離道邇ニアリ、而シテ諸ヲ遠ニ求ム、事、易キニアリ、而シテ諸ヲ難ニ求ム、同天下溺ルレハ、之ヲ援クルニ道ヲ以ス、同夫レ道ハ、大路ノ若ク然リ、豈ニ知リ難力ランヤ、人求メサルヲ病ム耳、同吾身、道ヲ行ナハサレハ、妻子ニ行ハレス、人ヲ便フニ、道ヲ以テセサレハ、妻子ニ行フ能ハス、同盡聖人ハ德ヲ上トシテ、功ヲ下トス、道ヲ尊テ、物ヲ賤シム、玉舟航ヲ捨テ、瀆ヲ濟ル者ハ、未シ、五經ヲ捨テ、道ヲ濟ル者ハ、未シ、法言

之ヲ古今ニ通シテ謬ラス、之ヲ中外ニ施シテ悖ラス、

恭シク惟ンミルニ、往古來今、之ヲ宇宙ト謂ヒ、上下四方、之ヲ

字ト謂フ、字ナル者ハ、動カスシテ体ヲ爲ス、猶ホ經ノ如キカ、宙ナル者ハ、變シ移リテ、其功ヲ成ス、猶ホ緯ノ如キカ、世人ハ、宙ハ固ヨリ一ニス可ラスシテ、字ハ同シクス可シト云フ、咄々誤レリ、蓋シ往來ト稱シヌレハ、新陳代謝ノ常勢タル、知ル可シ、歲ニシテ、春夏秋冬、身ニシテ、生老病死ナト、固ヨリ言ヲ待タス、人ノ情モ亦新ヲ悅ヒ、陳ヲ厭ヒ、奇石怪木モ、屢々此ヲ見レハ妙トセス、見狎レス、聞狎レサルヲ、美ナリ、奇ナリト喜フハ、移リテ居ラサル、宙ト稱スルノ常体ナリ、顧テ察スレハ、字モ亦シカリ、四方ソノ宜キヲ殊ニシ、萬邦ソノ俗ヲ異ニス、衣服器械飲食言語ニ至ルマテ、何ソ得テ一ニセンヤ、然レハ字ハ宙ノ如ク、宙ハ字ノ如キナ

リ、千載ノ上ハ、邈乎トシテ遠シ、萬里ノ外ハ、茫乎トシテハルカナリ、事モ物モ皆異ニ、情緒モ隨フテ移ル、之ヲ奈何シテ、一ニスルヲ得ンヤ、或ハ曰ク、然レハ宇宙同シク皆流动移易シテ、人生モ亦唯流レ移ルヲ以テ、其身ヲ終ヘンカ、曰ク、然リ、唯一箇ノ動カサル者アリテ、之ヲ貫ヌク、車輪ハ百轉スレトモ、軸アリテ、之カ主トナル、舟艤ハ萬轉スレトモ、柁アリテ、之ヲ制ス、廻チ知ル、動ク者ハ外ニシテ、靜ナル者ハ内ナリ、改マル者ハ輕クシテ、貫ク者ハ重キナリ、四方ノ異ナル此ノ如ク、古今ノ別アル此ノ如ク、事務ノ擾々トシテ繁多ナル此ノ如ク、庶物ノ紛々トシテ亂レ煩ハシキ此ノ如ク、風俗ノ殊ナル此ノ如ク、嗜ミ好ム所ノ變此ノ如シ、

而シテ、一箇ノ謬ラス悖ラサル者アリテ、之カ主ト爲ル耳、  
上文ノ如ク、遺訓ハ昭明ニシテ、聖旨ハ純粹ナリ、獨リ  
吾邦ノ上古ニ通スルノミナラス、之ヲ他邦ノ諸史ニ  
照シ考フルニ、其盛榮ニシテ隆治ト稱スルハ、皆斯道ヲ守  
ル者ニシテ、衰壞シ危亡セルハ、皆斯道ニ背ケル者ナリ、故  
ニ之ニ順ヘハ、君ハ其安ヲ得、民ハ其宜ヲ得、物ハ其性ヲ盡  
シ、材ハ其用ヲ盡ス、之ニ違ヘハ、天物ハ暴殄セラレ、人類ハ  
殘害ス、謂フ所ノ人ノ類滅スル久シト云フ者ナリ、然レハ  
斯道ヤハ、人間世界ノ綱紀ニシテ、獨リ我カ神州ノ守ル  
所ニ非サルナリ、

### 朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ、咸其德ヲ一一セン

### コトヲ庶幾フ、

〔釋詁〕拳々ハ、奉持ノ貌禮記、服ハ、猶ホ着ノコトシ、膺ハ、胸  
ナリ、能ク守ルヲ言フナリ、同上、服膺ハ、身先ツナリ、皆躬  
親ラスルヲ謂フナリ、疏爾雅、咸ハ、皆ナリ、字典庶幾ハ、コヒ  
子カフナリ、註

恭シク惟ンミルニ、天ノ時ハ、地ノ利ニシカス、地ノ利ハ、人  
ノ和ニシカスト、楠參議カ南廷ヲ輔ケシ時ニ、嘗テ此語  
ヲ誦セリ、然レトモ、獨リ兵ヲ用フルノ道ノミニ非サルナ  
リ、蓋シ父子兄弟夫婦德ヲ一ニシテ、一家和シ、朋友姻族州  
里德ヲ一ニシテ、一國和シ、君臣上下貴賤德ヲ一ニシテ、天  
下和ス、家ヨリ國ニ及ホシ、國ヨリ天下ニ及ホシ、和氣天地

ノ間ニ洋溢シテ、國家磐石ヨリモ堅固ナリ、強賊アリト雖  
トモ、陵ク能ハス、勁寇アリト雖トモ、侵ス能ハス、猶ホ血氣  
充實シ、支体健康ナレハ、病魔モ犯ス能ハサル如キナリ、我  
カ神州三千餘年、儼然ト尊ク、歸然トシテ存セルハ、實ニ  
上下徳ヲ一ニスルノ致ス所ナルコト、前ニ徵シテ知ル可  
シ、然レハ其前ニ徵スル者ヲ以テ、後ニ驗ヲ取レハ、亦何ノ  
難キコトカアラン、今ヤ聖旨、爾臣民ト、再ヒ警醒シ玉ヒ  
テ、拳々服膺ノ四字ヲ以テ、遵ヒ守ルノ方ヲ示シ、咸其徳ヲ  
一ニセント云フヲ以テ、基本ヲ顯ニシ賜ヘルニテ、朝カラ  
萬乘ノ尊ヲ降シテ、下モ草莽卑賤ノ徒ト、心ヲ同クシ、徳  
ヲ一ニシ、以テ、皇基ヲ護シ、皇運ヲ隆シニシ、以テ、祖

宗ニ報セント宣リ玉ヘル、讀テ此語ニ至リテ、感泣シテ禁  
ル能ハサルナリ、然リ而シテ、矧ニ思フニ、蒙昧ノ輩、實ニ鮮  
カラス、或ハ千歳ノ上遡乎トシテ知ル可ラサルコトヲ信  
シテ、今日ヲ非リ、或ハ萬里ノ外茫乎トシテ用フ可ラサル  
コトヲ聞テ、内ヲ疑フ、皆惑ヘルナリ、宇宙ヲ貫テ變移ス可  
ラサル者ハ、斯道ニシテ、海内ヲ舉テ奉戴セサル可ラサル  
者ハ、聖上ナリ、敬<sup>アシ</sup>テ、聖敕ヲ讀テ、守ル能ハサルハ、天ヲ  
敬セサルナリ、敬<sup>アシ</sup>テ、聖敕ヲ誦シテ、之ニ背クハ、天ヲ畏レ  
サルナリ、聖上ヲ仰ク猶ホ天ノ如クス可シ、然ルニ別ニ  
上天アリト謂ヒ、斯道ニ体スル猶ホ衣食ノ如クス可シ、然  
ルニ別ニ身ヲ立テ徳ヲ養フノ方アリト謂フ、此レ惑ナリ、

乃チ窮ニ願フ、海内ノ人民、宜シク惑ヲ辨スルヲ以テ先務トナス可シ、惑ヲ辨シテ後ニ、其德自ラ崇ク、自ラ全シ、以テ徳ヲニスルノ聖旨ニ背カサル可キノミ、故ニ今辨惑ノ二字ヲ掲テ、以テ聖旨ヲ擴ムルハ、亦賤臣南岳本ニ報スルノ微衷ト之レ云フ、聖教マ萬々也、斯春也、

聖勅衍義畢

聖勅一編、維純維粹、人道懿典、盡于此矣、而文簡旨深、昧者蒙生、不能窺知、請南岳解釋、南岳菲才、安能測所含蓄餘意而了解之乎、然亦不可辭、則筆一二以授之、

自形而下、可見而識、自形而上、不可見而識、故聖哲立之名、以示其物、名教之所以興也、乃今書訓詁、以明其名、所以使蒙生見而順也、

聖經賢傳所錄、可以輔翼、聖旨者有之、可以發明、聖旨者有之、故付載之、以使人々有所自得已、由此書以索之、則脩齊治平之道、其盡于此

賤臣藤澤南岳謹識

聖東行集

之子可成之學也。故其顯與德業，自當傳于後世。故其家之傳  
者，皆齊平之基，其此之遺也。故其家之傳者，皆齊平之基。  
卷亦文，遺其顯也。足助人之遺，領目精，得由其告，足家之興。  
聖賢遺教，足以神異。聖旨法言，可以為開。聖賢  
榮光，足以照耀。

以示其時，其達也。視以典故，今舊贊而以觀其音，則動  
自研而不復見而歸。自研而土不復見而歸，始舉首立之。答  
而工織之，器亦不再繢。繢一二以爲之。

繢全，不謂誤映。謂其繢，謂其繢。大安，謂其合繢。繢  
聖錄一，繢其餘錄。著之，其續典盡于其矣。而文蘭自笑，相書

明治廿四年三月八日印刷

〔定價金十二錢〕

同年三月十日出版

〔大阪市東區淡路町一丁目  
三十四番屋敷〕

著述者兼發行人

藤澤南

印刷人

岡島幸次

發賣人

鹿田靜

發賣人

岡島真

七

郎



〔大阪市東區安土町四丁目  
百十五番屋敷〕

〔大阪市東區本町四丁目  
百五十四番屋敷〕



850

